## ***健康診断アプリ***

ウンチもあるよ

## 概要

**開発の背景**

生活習慣の乱れ、健康状態の把握する目的。

健康意識の向上、食育など教育、食べたものによって体調にどのような変化が現れるかを知ってもらう目的。

便秘や鬱などの病気を事前に把握する。腸の調子と脳は関わっている。

## システム要件

**機能要件**

ユーザーの体調や気分を入力してもらう機能(腹痛か、持病か、など)

↑痛みや感情に関してはフェイス・スケールまたはVAS(Visual Analogue Scale)を採用

健康状態を10段階で評価する機能

(体温、食欲、睡眠、色、形、臭い、量、硬さ、所要時間、何日ぶりか、など)

受け取った自己評価から健康状態を診断する機能

不調の場合は有効と考えられる栄養素を含む料理の提案（のどが痛ければ生姜など）

連続ログイン日数や健康度合によって良い報酬(スタンプラリー的な機能)を与えて、逆の場合は残念な演出をする機能

やりこみ要素としてトロフィーの機能

自分のアカウント登録をする機能

身長、体重を入力記録する機能→（BMIも表示）

過去のデータと照合する比較する登録機能

運動量の記録機能（可能であればGPS等で移動距離も記録）

食事の登録（写真を撮ってアップロードして登録しておく、原則的にキー入力は求めない）

脱水症状対策として、自分の摂取するべき水量を提案する機能

ログイン時に励ましの言葉や挨拶を表示する（500回に1回激レア挨拶があるかも）

## ***浪費推奨、消費促進アプリ***

お金の使い道がない→いくら使ったを登録して、「おめでとうございます！」

上司の期限がわかるみたいに、周りの同僚とかがいくら貯金したかわかる

→使っている額だったらちょっとわかりずらいため面白さだけ抽出。何に使ったとか、会話のきっかけにもなる。

高額商品を目標として設定し、達成しやすくなる？目標の期間を設定。

通知で達成額までの金額をリマインダー

ユーザーの属性や収入に応じて？現在の所持金で何ができるのか？

消費方法の提案→新しい趣味に出会えるかも

選択に合わせて毎週/毎月の使用金額の目安の設定、

生活に適度な刺激を与えるために、適切なタイミングでユーザーに合わせた購入すべき物の選択肢を出して、生活水準QOLの向上に貢献する

目標を達成したら、背景が変わるなど、ゲーム感覚でできるかも

**概要**

お金の使い道に困っている人に対して、新しい趣味の開拓に役立てるため。

趣味を開拓することで人脈の狭さの悩みを解決するため。

生活の水準を向上させるため。

**システム要件**

使った金額の登録機能

何に使ったかの登録機能

目標金額の登録機能

↑それらの更新と削除機能

他のユーザーがいくら消費したかを表示しあう機能

リマインダーなどの通知機能

おすすめの消費方法の提案機能

報酬の表示機能